

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復旧や復興の様子を紹介します



ガラス張りになっている外観



開所式の会場となった大ホール。軽スポーツにも使える



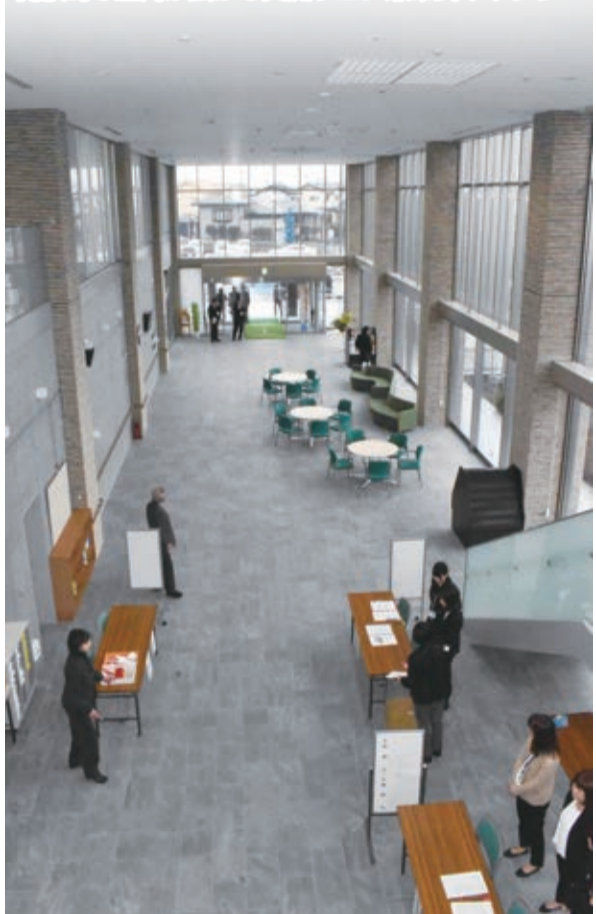
5台の調理台を備えている調理室



28畳の広さがある和室

住民生活支える広々、快適な空間

開放的な空間が広がる交流サロン兼市民ギャラリー



蛇田獅子風流の勇壮な獅子舞が開所式を盛り上げた



蛇田支所・蛇田公民館の複合施設が開所



コミュニティー拠点となることを期待しテープカット

市が恵み野二丁目到新築した蛇田支所・蛇田公民館の複合施設が1月14日から業務を開始しました。前日の13日に開所式が行われ、地区住民ら約100人が出席しました。蛇田地区は災害公営住宅や集団移転住宅が整備されて人口が増加しており、新しい支所、公民館が住民生活や地域コミュニティーを支える新たな拠点として期待されます。

旧支所は昭和47年、旧公民館は昭和53年に建築されました。老朽化が進んだことから、市は平成20年に複合施設の整備計画基本方針を策定するなどして新築準備を進めていましたが、東日本大震災により計画は休止。平成29年に改めて基本計画が策定され、平成30年6月に着工、令和元年12月に完成しました。新施設は鉄筋コンクリート2階で、南側と東側がガラス張り。延べ床面積は支所363平方メートル、公民館1,389平方メートル、共用部分241平方メートルの計1,993平方メートルで、旧支所と旧公民館を合わせた約1,000平方メートルの約2倍の広さです。

1階には支所と公民館事務室、200人収容でバドミントン、卓球などの軽スポーツができる大ホール、吹き抜けの開放的な空間が広がる交流サロン兼市民ギャラリーがあります。2階は会議室3室(1室は簡易防音)や28畳の和室のほか、調理室、創作室や授乳室を設けました。駐車場は91台分を確保。大規模災害時に避難所になることから自家発電設備と防災用備蓄倉庫を備え、高齢者や身体障害者から要望の多かったエレベーターも設置しました。

大ホールで開催された開所式で亀山紘市長は「新たな住民コミュニティーの拠点として多くの市民の皆さまに活用していただけると期待しています」とあいさつし、蛇田地区行政委員区長会の黒須啓一会長らと共にテープカットし、開所を祝いました。地元の曾波神恵比寿太鼓と蛇田獅子風流が威勢のいい演奏や舞を披露し、式を盛り上げました。

図 蛇田支所 ☎95-1442
蛇田公民館 ☎95-0183